
また、会いましょう。

不知火 暁

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

また、会いましょう。

【Nコード】

N0916S

【作者名】

不知火 暁

【あらすじ】

短いので簡単に読めるとは思っていますが…。
なかなか暗い話になりました。
暗い話が苦手な方は、お気を付け下さい。

誰かの、声。

「さようなら。」

寂しくさせる、その言葉。

お兄ちゃんが最後に言った、その言葉。

「いままで、ありがとう。さようなら。」

どうして最後だけ、他人行儀だったのか。

泣きそうに、なる。

あのことを思いだす度に。

隣の家の、優しいお兄ちゃん。

いつも優しくかった、お兄ちゃん。

殺したのは、お兄ちゃんの彼女さん。

どうして殺したのだろうか？

人間なのだから、殺しても仕方がないけれど。

私は少し怒っている。

だから私もお兄ちゃんの彼女さんを殺してみた。

なんにも面白くなかったけど。

何がしたかったの？

彼女さん。

お兄ちゃんを、私の触れられない場所に連れて行くことと思った？

うん。

かわいそうな人なんだね。

分かったよ。

そういうことなら、仕方ない。

怒ってはいるけど、許してあげるよ。

今度は殺しちゃダメだよ？

私の大事な、お兄ちゃんなんだから。

あ。

天使？

ウケる。

羽もげてるよ。

私がいだんだけど。

ああ。

そろそろ行かなきゃ。

もう。

お兄ちゃんを殺すのはやめるよ。

だからさ。

さよならなんて、言わないでよ。

寂しいじゃん。

私は許したんだから、お兄ちゃんも許そうよ。

私を殺したことを、お兄ちゃんが怒ってもしょうがないでしょ？

ふふ。

ありがとう。

また会えて嬉しいよ。

ああ、そうだ。

思ったんだけど。

天国って、真っ暗なんだね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0916s/>

また、会いましょう。

2011年10月8日15時44分発行